

熊本県公立高校の入試選抜方法

■入試制度改革の概要

受検者の多様な能力・適性や意欲・関心、努力の成果等について優れた面を積極的に評価し、受検者の受験機会の拡大を図るために、平成17年度入試より前期・後期選抜制が導入されました。37年ぶりの大幅な制度改革で、前期選抜における競争率や学校独自検査問題、後期選抜における数学・英語の選択問題などに注目が集まりました。しかし、平成24年度入試からコースを除く普通科については、前期（特色）選抜を実施しないことが決まり、普通科の学校では受験が1回のみとなりました。また、平成18年度入試より、少子化に伴う県立高校の通学区域の見直し等の再編整備計画が進められており、平成22年度の入試から、以下の内容で実施されています。

- ① 8学区から3学区に再編する。
 - ・ 県北学区（荒尾市・玉名市・山鹿市・菊池市・阿蘇市 等）
 - ・ 県央学区（熊本市・合志市・宇土市・宇城市・菊陽町・益城町・御船町・甲佐町 等）
 - ・ 県南学区（八代市・水俣市・天草市・上天草市・人吉市 等）
- ② 学区外枠もコースを除く普通科については、平成22年度入学者選抜より現行の6.5%から13%へ拡大する。（※通学区域の線引きに伴う不公平感を緩和）

前期・後期選抜制における概要は以下の内容です。

- ① 前期（特色）選抜の募集人員を、募集定員の70%以内の範囲で当該高等学校長が定める。ただし、熊本市に所在する高等学校においては、募集定員の50%以内の範囲で当該高等学校長が定める。
- ② 前期（特色）選抜を実施する高等学校は、重視する観点を定め、その観点に沿って、学校独自検査（面接、小論文、実技検査等）の中から選抜方法を定める。（独自検査については、複数の組み合わせもある。）
- ③ 前期（特色）選抜試験で合格した場合は、必ず入学することが条件。
- ④ 絶対評価への不平等感を是正する目的で、後期選抜において調査書の評定を学力検査の得点を用いて補正する。
- ⑤ 後期選抜において、第1選考後の選考基準は各高校で定める。（主要校は、概ね評定よりも学力検査重視）

なお、令和6年度後期選抜より、熊本市立千原台高校は、熊本市教育委員会が作成したマークシート形式の入試を導入しています。令和7年度後期選抜より、熊本市立必由館高校も熊本市教育委員会が作成したマークシート形式の入試を導入しています。また、令和8年度入試より、インターネット出願を利用したの志願者情報登録や手数料の納付が始まります。令和7年度の後期選抜は、熊本高校1.50倍、済々黌高校1.48倍、第二高校（普通）1.54倍、第一高校（英語コース除く普通）2.05倍、熊本北高校（普通）1.49倍、必由館高校（文理総合）2.20倍と高倍率をキープしています。早い段階から、しっかりと目標を定めて準備していく必要があります。

令和8年度公立高校入試日程

1. 前期（特色）選抜

登録期間	令和7年12月1日（月）～令和8年1月23日（金）正午
納付期間	令和7年12月1日（月）～令和8年1月23日（金）正午
出願期間	令和8年1月20日（火）～1月23日（金）正午
前期（特色）選抜実施日	令和8年2月2日（月）
結果の通知	令和8年2月9日（月）

2. 後期（一般）選抜

登録期間	令和7年12月1日（月）～令和8年2月17日（火）正午
納付期間	令和7年12月1日（月）～令和8年2月17日（火）正午
出願期間	令和8年2月12日（木）～2月17日（火）正午
出願変更期間	令和8年2月18日（水）～2月20日（金）正午
後期選抜実施日	令和8年3月4日（水）・5日（木）
合格者発表	令和8年3月12日（木）

■前期（特色）選抜制について

前期（特色）選抜では、特別な出願資格はありませんが、合格した場合は必ず入学することが条件となります。平成24年度からコースを除く普通科の前期入試が廃止されたことと、学力検査が実施されなくなったことが大きな変更点です。後期選抜のように共通の問題ではなく、各高等学校が重視する観点にそって、面接、小論文、実技検査、実験、自己表現、総合的な学習の時間の成果に発表に関するもの等、各高等学校長が定めた選抜方法によって選抜されます。令和4年度入試から募集人員は定員の70%以内（熊本市内は50%以内）の範囲で当該高等学校長が定めることになっています。前期（特色）選抜で各学校が重視する観点、募集人員、検査内容、具体的な選抜方法等は、後日熊本県教育委員会から発表されます。

■後期選抜制について

後期選抜では、入学者の選抜は調査書の記録及び学力検査の内容を総合して評価されます。募集定員は前期（特色）選抜の合格内定者数を差し引いた数になります。選抜方法の手順は次の通りです。

- (1) 5教科の学力検査の得点（各教科50点満点／検査時間は各50分）を合計し、合計点の高い順に順位をつけます。
- (2) 調査書の評定については、次の①～③の手順で総計点を算出し、総計点の高い順に順位をつけます。
 - ① 学力検査を行う5教科については、教科ごとに、第1学年及び第2学年の評定に、第3学年の評定を2倍したものを加えて合計し、さらに、その合計点を、学力検査の得点を用いて補正します。
 - ② 学力検査を行わない4教科については、教科ごとに、第1学年及び第2学年の評定に、第3学年の評定を2倍したものを加えて合計します。
 - ③ ①で補正した5教科の合計点に、②の4教科の合計点を加えて総計点を算出します。
- (3) 受験者の中で、(1)の学力検査の順位、(2)の評定の順位が、ともに募集人員以内にある者を対象に、第1選考として、その中から合格者を決定します。
- (4) 第1選考での合格者数が募集人員に満たない場合、各高等学校長は、あらかじめ定めた選考基準に従って、第1選考の合格者以外の中から残りの合格者を決定します。

補正方法 英進太郎君の場合

学力検査の得点合計

169点

補正後の評定の合計

137点

<学力検査の得点>

国語	36
社会	30
数学	28
理科	35
英語	40
合計	169



<調査書の評定>

	1年	2年	3年	×2	合計	補正
国語	3	3	4	8	14	15
社会	4	3	4	8	15	15
数学	4	3	3	6	13	13
理科	4	2	4	8	14	15
英語	3	2	4	8	13	15
音楽	5	3	5	10	18	
美術	4	2	3	6	12	
保体	4	3	4	8	15	
技・家	5	4	5	10	19	
				総計点	137	

得点	50	47	44	41	38	35	32	29	26	23	20	17	14	11	8	5	2
評定	48	45	42	39	36	33	30	27	24	21	18	15	12	9	6	3	0
20	20	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12
19	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12
18	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11
17	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11
16	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10
15	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10
14	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9
13	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9
12	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8
11	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8
10	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7
9	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7
8	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6
7	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6
6	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5
5	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5	5
4	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5	5	4

※熊本県教育委員会ホームページより抜粋

◆後期選抜における「第1選考後の選抜基準」（令和7年度）令和8年度分は後日発表されます。
後期選抜の第1選考で合格者数が募集人員に満たない場合に、残りの合格者を決定する際の基準として、各高等学校があらかじめ定めるものです。

【熊本県立高等学校全日課程】※一部高校のみ抜粋

学校名	学科・コース		第1選考後の選抜基準
	学科	コース	
済々黌	普通		学力検査を行った5教科の検査得点の合計を5倍した点数と、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
熊本	普通		学力検査5教科の得点合計を主たる資料とし、第1選考で使用した評定の総計点を参考として選抜する。
第一	普通		学力検査の順位を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
	普通	英語	学力検査（英語は得点を2倍して処理）の順位を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
第二	普通		学力検査得点の合計点（250点満点）の順位を主たる資料とし、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を参考として選抜する。
	理数		学力検査得点合計（数学及び理科の得点を2倍にした350点満点）の順位を主たる資料とし、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を参考として選抜する。
	美術		学力検査得点合計（250点満点）と実技検査の得点（100点満点）を合計した得点（350点満点）の順位を主たる資料とし、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を参考として選抜する。
熊本西	普通		学力検査の得点合計を選抜の主たる資料とし、調査書を参考として総合的に選抜を行う。
	普通	スポーツ	実技検査の得点合計を選抜の主たる資料とし、学力検査の得点合計及び調査書を参考として総合的に選抜を行う。
	サイエンス情報		学力検査の得点合計を選抜の主たる資料とし、調査書を参考として総合的に選抜を行う。
熊本北	普通		学力検査を行った5教科の検査得点の合計を2倍した点数と、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
	理数		学力検査を行った5教科の検査得点（数学は得点を2倍）の合計を2倍した点数と、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
	英語		学力検査を行った5教科の検査得点（英語は得点を2倍）の合計を2倍した点数と、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
東稜	普通		学力検査得点合計（250点満点）を選抜の主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
	普通	国際	学力検査得点合計（英語の得点を2倍した300点満点）を選抜の主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
	普通	理数	学力検査得点合計（数学の得点を2倍した300点満点）を選抜の主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。

公立高校後期選抜 受検者数と倍率の推移（令和3年度～令和7年度）

【公立後期】		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
学校名	学科 コース	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率
熊本	普通	400	559	1.40	400	555	1.39	400	599	1.50	400	586	1.47	400	600	1.50
済々黌	普通	400	625	1.56	400	664	1.66	400	533	1.33	400	658	1.65	400	591	1.48
第一	普通	320	642	2.01	320	573	1.79	320	564	1.76	320	603	1.88	320	656	2.05
	英語	30	40	1.33	30	39	1.30	30	34	1.13	30	51	1.70	30	48	1.60
第二	普通	320	440	1.38	320	509	1.59	320	487	1.52	320	510	1.59	320	493	1.54
	理数	20	28	1.40	20	42	2.10	20	33	1.65	20	31	1.55	20	35	1.75
熊本北	普通	280	417	1.49	280	471	1.68	280	437	1.56	280	405	1.45	280	418	1.49
	理数	20	27	1.35	20	41	2.05	20	31	1.55	20	38	1.90	20	52	2.60
	英語	20	12	0.60	20	20	1.00	20	26	1.30	20	24	1.20	20	20	1.00
東稜	普通	280	291	1.04	280	330	1.18	280	386	1.38	280	412	1.47	280	301	1.08
	国際	20	22	1.10	20	18	0.90	20	22	1.10	20	23	1.15	20	25	1.25
	理数	20	14	0.70	20	21	1.05	20	18	0.90	20	18	0.90	20	18	0.90

※（倍率）＝（出願者数）÷（定員）

後輩達への激励記

「初志貫徹」

熊本高校1年 K・Kくん（熊本高校、真和高校 合格）

（「巣立ち」より一部抜粋）

これから受験をする後輩たちへ、大切なことを三つ紹介します。一つ目は、「切り替える」ことです。～中略～日々の小テストや模試で良い結果を出すことにこだわり、各科目の先生に質問や添削など積極的に行くようにしました。「量だけやって意味があるのか？」と思うときもありましたが、受験当日は、「これだけ必死にやったから大丈夫。」と自信につながりました。受験勉強だけでなく、模試や入試本番でも「切り替え」は超大切です。私は一日目の英語があまり上手くいきませんでした。しかし、「国語・理科がぼちぼちできたから大丈夫」と切り替えて前向きな気持ちで二日目の勉強をしたことで、二日目の社会、数学で良い結果を出す事ができました。「諦めたら、そこで試合終了ですよ？」という言葉があるように最後まで諦めずに頑張らしましょう。二つ目は、「楽しむ」です。私は始めは行きたい高校がなくただがむしゃらに勉強していました。高校受験は、スポーツでたとえるなら、フルマラソンのようなもので、「先の見えない持久戦」。とにかくしんどかったです。しかし、私はとにかく負けず嫌いでした。私はとある友達（ライバル）に一度も模試で勝ったことがないので、いつか勝ちたいと思っていました。受験勉強でしんどいときに、「〇〇に圧勝してやろう」「全力を出して一位とろう」とイメージすることでテンションを上げました。～中略～ 三つ目は、「信じる」です。まずは、自分のペースを信じるのが大切です。私はとある大予想！模試の英語で「いつもと違う解き方」をしてしまったため、ペース配分が狂ってしまい、五十点中二十点という私史上最低点数叩き出しました。普段から模試、そして入試本番のイメージをはっきり描いて、勉強頑張っていきましょう。そして英進館を信じましょう。「キーワードチェック」「大予想！模試の復習」「英進館の先生たちを信じる」この三つを行えば完璧です。最後に、朝早くから塾を開けて、勉強のサポートをしてくださった面白くて生徒想いな先生方のおかげで最後まで楽しく受験勉強を乗り切ることができました。本当にありがとうございました。ここまで読んでくださった後輩のみなさん、塾に行くのがキツイ、面倒くさい！と思うときもあるかもしれませんが、塾に行ったら確実に強くなれます！最後まで自分の夢や目標を貫いて、焦らず最後まで頑張ってください！